

次の停車駅: 革新的なプロジェクトの実現

官民協力

ファクトシート (概況報告書)



P₃の考え方

Measure Mの承認とともに、Metroは米国内で最大規模の最も意欲的な交通投資プログラムの一つを開始します。米国内および世界で最高水準の最も革新的な機関の例に習い、Metroはこれらのプロジェクトを実現し、その長期の実績を保証するための新たな方法を模索しています。



Metro[®]

創造的になること

Metroがプロジェクト実現のためのツールボックスに盛り込んでいる戦略の一つは、官民協力、または“P₃”と呼ばれる概念です。MetroのP₃戦略には、プロジェクトの計画、設計、建設、資金調達、運営、および保守の一部またはすべてにおいて民間セクターと協力する公的機関が含まれます。各協力者は自らの強みであるスキルと資産を提供し、プロジェクトの潜在的なリスクと報酬を分配します。

P₃は長年の間、国際的によく知られており、世界の公共インフラの建設と管理に民間セクターの専門知識、独創性、そして正確さをもたらしつつあります。さまざまな事例において、これはプロジェクトの革新、コストの節減、実績の改善、そしてスケジュールの加速に役立ってきました。Metroでは、P₃がこの仕事のための適切なツールであるか否かの決定のために計画されたプロジェクトを見渡しつつ、これらと同様の恩恵をロサンゼルス郡にもたらすことを求めています。

P₃の恩恵

P₃は多くの形をとり、以下を始めとする広範な恩恵を提供できます。

- > **より優れた創造性と、新たな技術やアプローチへのアクセス:** 民間企業はしばしば、革新的なアプローチや技術を導入し、自らの実績についてリスクをとることができます。
- > **プロジェクトの設計と実績の改善:** 民間セクターによる革新によれば、建設コスト、そして寿命の間の運営コストと保守コストを削減できます。
- > **実績へのインセンティブ:** ミーティングのスケジュール、実績基準、サービスの質、良好な修理状態、その他の要件に対する責任を通じてプロジェクト実績が改善します。
- > **プロジェクトの加速:** 革新的な資金調達を通じてのプロジェクトの加速化の可能性があります。
- > **公共セクターのリスクの低減:** スケジュール、予算、実績などの特定面のリスクを、それらをより効率的に、費用対効果のより高い方法で管理できる民間セクターに移行します。

官民協力とは？

官民協力(P₃)とは、公共のサービスや施設を提供することを目的とした、公的機関と民間提携者との間の協力です。官民協力においては、各セクターのスキルと資産、そして潜在的な落とし穴と報酬の分配が行われます。

- > P₃は多くの形をとる場合があり、プロジェクトの計画、設計、建設、資金調達、運営、および保守、もしくはこれらすべての要素の一部またはすべての組合せに対する民間の参加が含まれる場合があります。
- > P₃のモデルは、そのようなリスクの分配と、実績ベースの契約を通じて、納税者により多くの価値を提供することができます。
- > P₃は一般に長期(30~50年)の契約上の取決めであり、公的機関と民間提携者との間の支払いが含まれます。
- > P₃により、公的機関は自らが得意とする領域の管理に集中し、課題のある領域では民間セクターと協力することにより、価値を最大化することが可能になります。

P₃はMetroにどのような恩恵をもたらしますか？

Metroのような機関はさまざまな理由により、プロジェクトの達成のためにP₃を利用します。米国および世界において、P₃は公共インフラの建設と管理に民間セクターの専門知識、独創性、そして正確さをもたらしてきました。さまざまな事例において、これは革新、コストの節減、実績の改善、そしてプロジェクト進行の加速につながりました。

Metroが主なプロジェクトのすべてにP₃を活用しないのはなぜでしょうか？

すべてのプロジェクトがP₃に適した候補であるとは言えません。最良のP₃候補は、設計、エンジニアリング、建設、および運営上の重大な課題をともなう大規模で複雑な、数年を要するプロジェクトです。この種類のプロジェクトがリスク分散、そしてP₃においてしばしば用いられる結果または実績ベースの契約のアプローチの使用による恩恵を、最大限に受けることができます。

P₃選択のプロセスはどんなものでしょうか？

Metroでは、P₃プロジェクト候補の評価のための2段階の審査プロセスを作成しました。候補プロジェクトの多くは未承諾提案政策によりMetroに提案されるもので、この政策により、民間企業はP₃候補者の決定においてイニシアチブをとることができます。Metroは財政、法律、および技術面のアドバイザーと協力して、各P₃候補者について詳細かつ総合的な提案評価書を作成します。

P₃は独占供給契約ですか？

いいえ。P₃プロジェクトについては、Metroは設計、建設、運営、および保守を始めとする領域に関連して定めた要件を添えて、提案依頼書(RFP)を通じて勧誘を行います。このRFPは、その後競争的な入札プロセスを通じて公開されます。民間会社は提案書を提出しますが、この提案書には、多くの要素の中でもとりわけ、民間提携者にとってプロジェクトが依然として実行可能であるような、考えられる最小額のMetroによる支出が含まれます。P₃のRFPへの回答は、Metroと入札者の両者にとって多くの時間とリソースを要するものであるため、多くのプロジェクトには、初期の資格審査要請書(RFQ)が含まれる場合があります。RFQは、適格な入札者の枠を実際にプロジェクトを実現する資格のある組織のみに絞り込むためのものです。

P₃は、長期的にはMetroにとってより多くのお金がかかるのでしょうか？

P₃契約を利用する目的は、Metro、そのカスタマー、そしてロサンゼルス郡の納税者および居住者の方々に可能な限りの最大の価値をもたらすことです。P₃契約の一部の要素(たとえば融資のコスト)は、完全公共の同等のプロジェクトよりも高つくかもしれませんが、全般的に見て、Metroでは納税者のお金に対してより多くの価値を受け取ることを見込んでいます。Metroでは、個々のP₃の実際のコストについては、競合する民間企業から提案書を受け取るまではわかりません。また、提案書が値札に見合った価値を提供しない場合は、Metroにはすべての提案書を拒否する選択肢があります。

小規模ビジネスおよび不利な状況にあるビジネスにとって、官民協力はどのように影響しますか？

Metroは建設の実現方法に関わらず、依然として国の融資によるプロジェクトの不利な状況にある企業(DBE; Disadvantaged Business Enterprise)への割り当て、そして地域の資本によるプロジェクトの小規模企業(SBE; Small Business Enterprise)への割り当てを継続します。Metroでは依然として、全プロジェクトにおいて、さまざまな技術を持つDBE認定またはSBE認定された企業を積極的に求め続けるとともに、すべての調達においてコンプライアンスを監視し続けます。Metroのプロジェクトに入札する民間企業は、地域の小規模ビジネスおよび不利な状況にあるビジネスのコミュニティに到達するためには、地域社会への貢献やネットワーキングを行うことが期待されます。

P₃の課題は何でしょうか？

P₃の契約プロセスは従来の契約よりも複雑になる場合があります。また、Metroの機会を最大化し、コストを最小化するために、詳細なプロジェクトの定義、さらにプロジェクトの役割、構成、および実績基準の明確な概要が要求されます。このため、プロジェクトの調達および実施のプロセスがより複雑になります。ですが、P₃の成功の最大の要因となるのは、この最初の作業です。Metroはすでに、民間提携者との契約において広範な経験があることをお心置きください。

官民協力を利用した場合、Measure Mに提供される旨、Metroが約束した仕事が取られてしまうことはありませんか？

いいえ。Metroがプロジェクトを実現する方法に関わらず、地域での仕事の機会があります。P₃には、プロジェクトの実現の監督と管理のために、公的機関の人材資源が必要です。公共プロジェクトのすべての場合と同様に、あらゆるP₃は、州および国の労働力基準を満たし、該当するすべての労働契約により支配されることを要求されます。

民間会社は契約を取り消すことはできますか？

他のあらゆる契約の場合と同様に、P₃の提携者が契約を取り消す可能性はあります。ですが、Metroではボンディング要件と保険要件を通じて自らの利益を保護し、これらはMetroがプロジェクトを完成させるためのリソースとなります。運営期間中に契約者が契約を取り消す場合は、Metroはサービスを運営する新たな民間運営会社の入札を募ることができます。

Metroがシステムまたは料金の管理権を失うことはありますか？

いいえ。Metroはその資産と投資金のすべての所有権と監督権を保持します。また、Metroは設計、料金構成、および運営基準を始めとする政策項目の監督権を保持するとともに、これらの項目を民間提携者との契約に盛り込むことができます。



官民協力についての詳細情報は、metro.net/ppp をご覧ください。

P₃はどのようにMeasure Mに組み込まれるのでしょうか？

Metroではいくつかのプロジェクトについて官民協力を考えており、P₃による実現の恩恵の面でのプロジェクト評価のために、技術、法律、および財政面でのアドバイザーのサービスを利用しています。P₃による恩恵がある可能性が判明した任意のプロジェクトについて、Metroは開かれた競争的プロセスを用いて、Metroの目標に最もよく合致する民間提携者を選定します。

- > 提案がMetroにとって最大の利益とならない場合は、契約の授与の前にいつでも、Metroはその任意によりP₃プロセスの中止を選択することができます。
- > Metroは設計および運営の基準、料金、スケジュールの設定、さらにプロジェクトの外観と雰囲気の監督を含めて、建設および運営の管理権および監督権を維持します。
- > Metroは既存の資産の売却または民営化を行うことなく、全資産の所有権を保持します。
- > 民間の運営会社の実績を示さない場合は、Metroは支払額を減額するか、または究極的には契約を解消する権利を保持します。
- > P₃のアドバイザーの助言を受け、Metroは財政的モデルを創出し、P₃契約の要件を作成します。
- > Metro内部の管理チームが契約業者の実績を監督します。契約業者は具体的な実績基準を満たすことが要求されます。基準が満たされない場合は、違約金が適用される場合があります。
- > P₃は納税者、施設を使用する乗客、トランジットの利用者、ハイウェイの運転者、並びに私どもの提携する地域社会の利害関係者に対して透明です。



ご連絡先

 innovation@metro.net

 metro.net/oei